

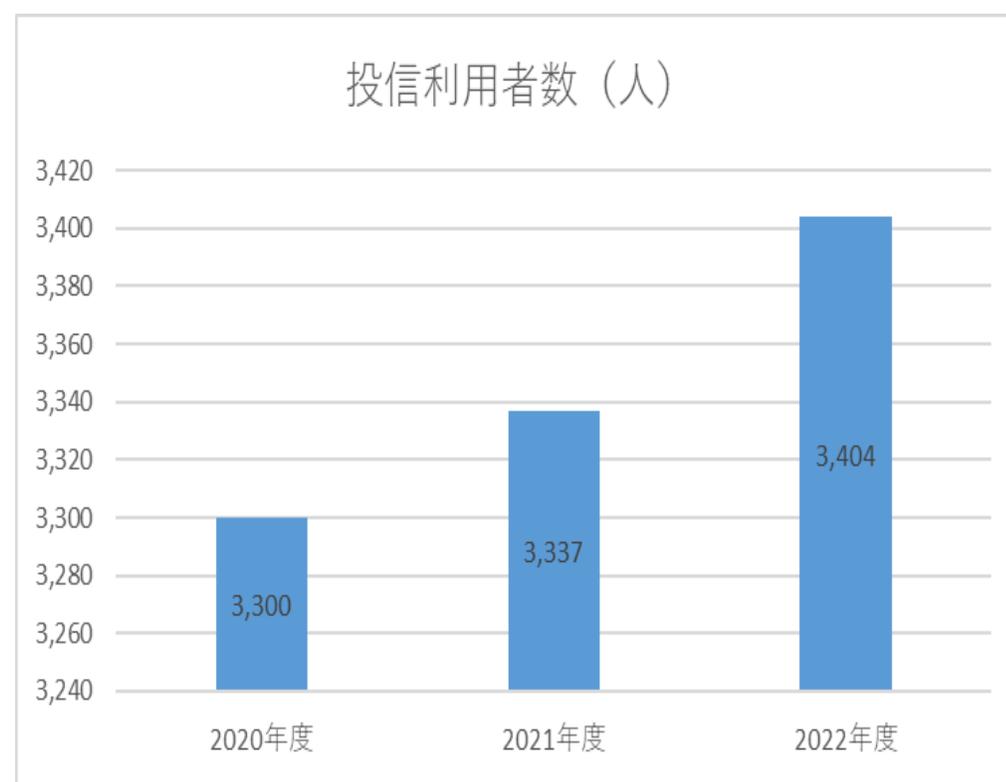
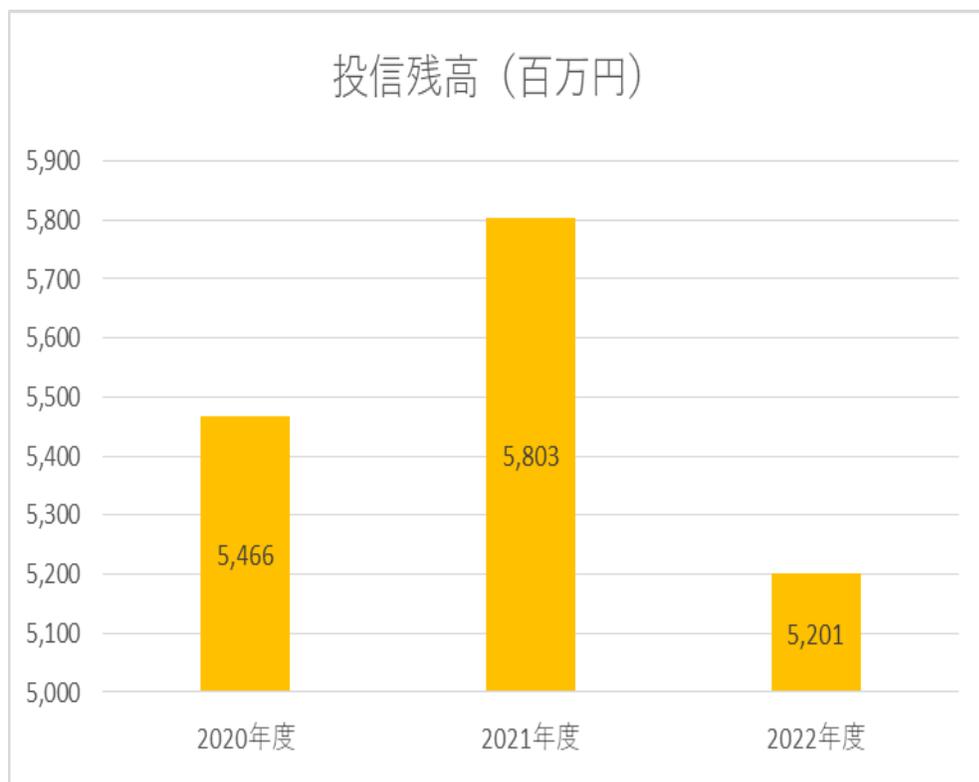
「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」の
2022年度取組状況について

金沢信用金庫

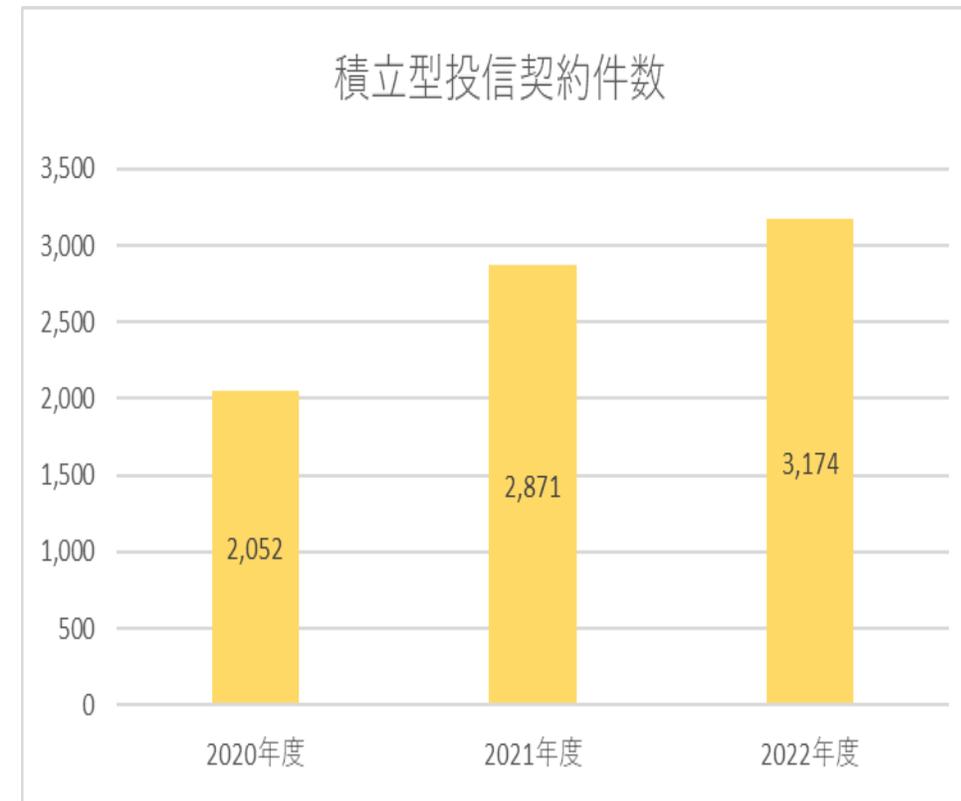
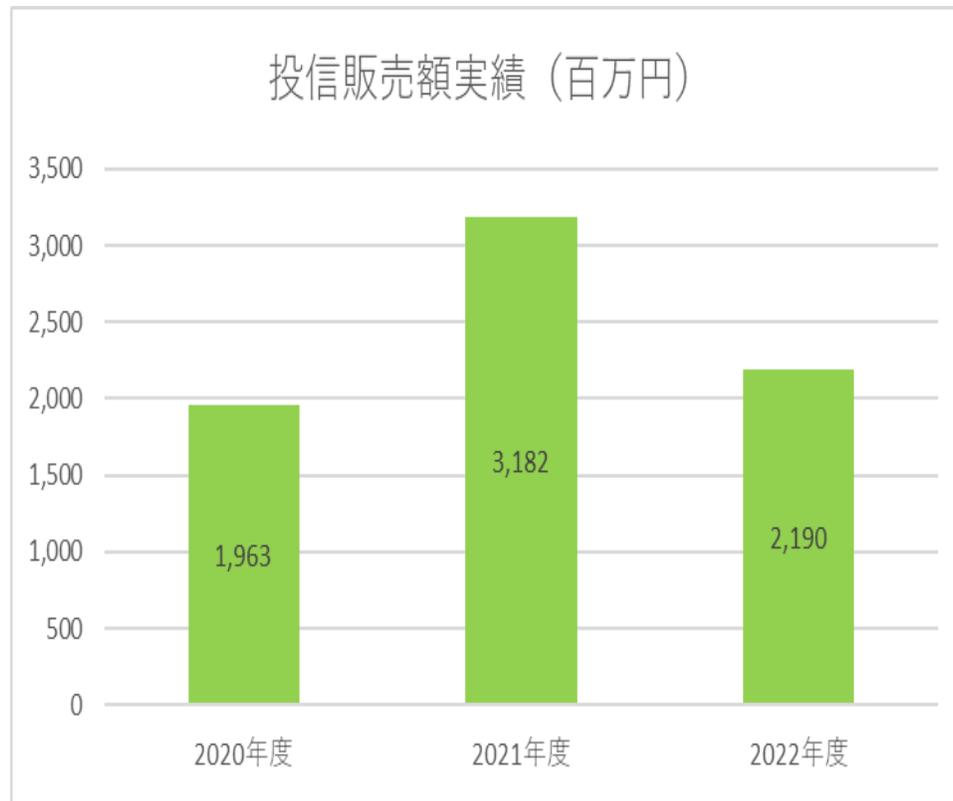
当金庫「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」の取組状況およびKPI（成果指標）の公表における取組方針と対応原則の記載ページは以下のとおりです。

| 取組方針 | 対応原則 | 取組内容 記載ページ |
|-----------------------------|---------------------|---------------|
| お客さま本位の営業活動の実践状況 | - | P2～5 |
| 1.お客さまの最善の利益の追求 | 原則 2 原則 6 | P6～7 |
| 2.利益相反の適切な管理 | 原則 2 原則 3 | P8～9 |
| 3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供 | 原則 2 原則 4 原則 5 原則 6 | P10～12 |
| 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 | 原則 5 原則 6 | P13～17 |
| 5.役職員に対する適切な動機づけの枠組み等 | 原則 6 原則 7 | P18～20 |
| 共通KPI | - | P21～P29 |

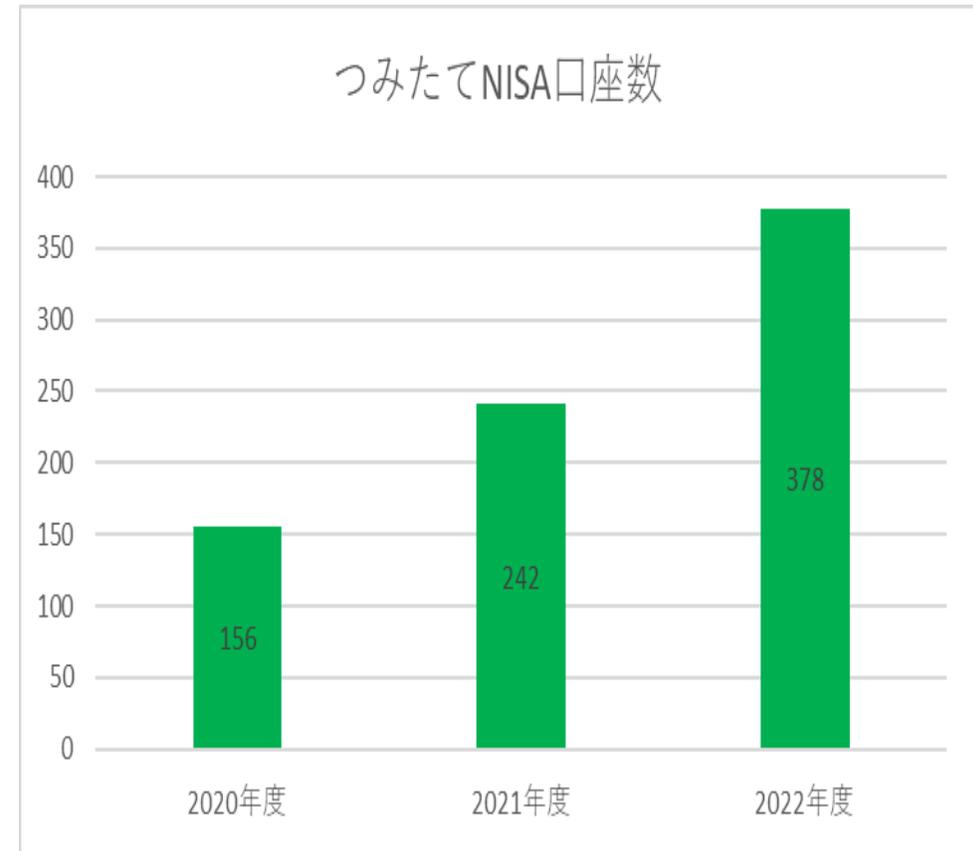
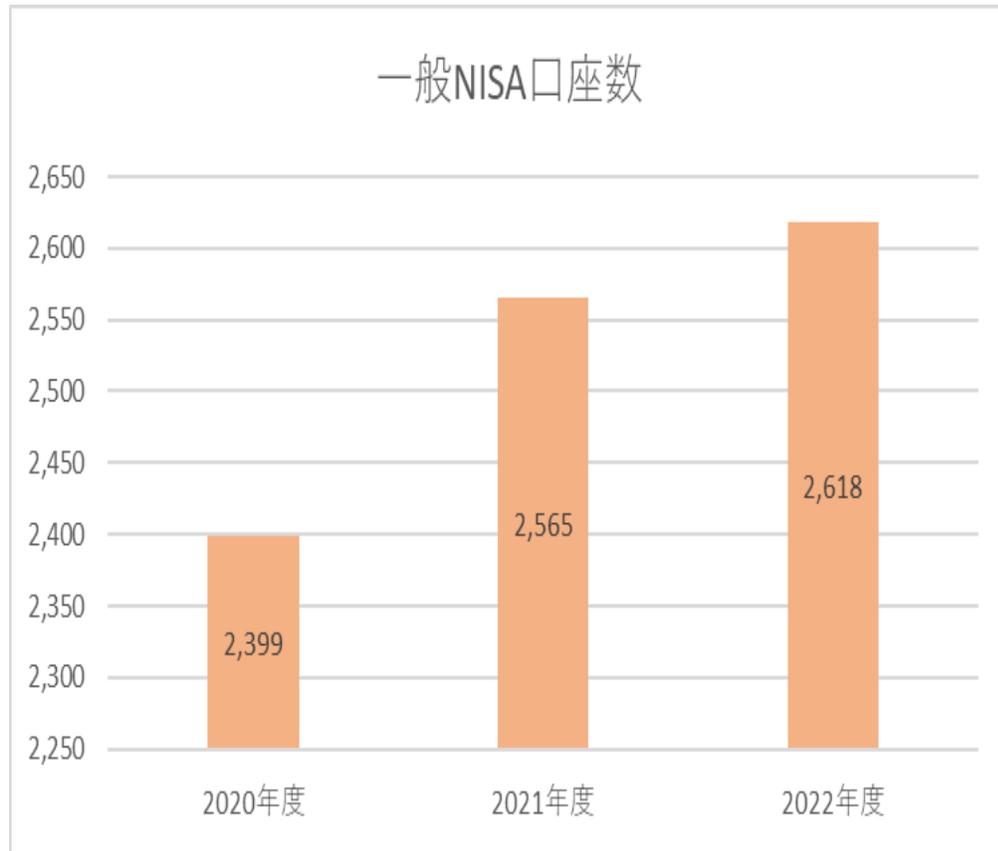
- ・当金庫は、2018年3月30日に「お客さま本位の行動宣言」を定め、地域経済の発展と豊かな地域社会づくりへの貢献を経営理念に掲げ、その実現へ向け、お客さま本位の行動に徹し、相互の発展につながる活動の実践を行動指針として定めております。さらに、具体的な取組方針を「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」に示し取り組んでおります。
- ・投信残高は経済情勢により変化はありますが、投信ご利用のお客さまは増加傾向にあります。



- ・ 投信販売額はコロナ禍の影響やウクライナ侵攻の影響もあり減少となりましたが、資産形成ニーズの高まりを受けて積立型投信契約件数は増加しております。

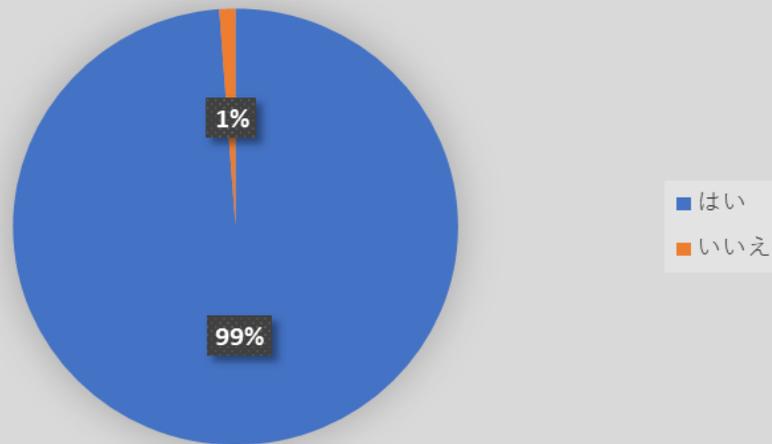


- ・資産形成ニーズや資産運用ニーズの高まりを受けて、NISA口座数は増加傾向が続いており、特につみたてNISA口座数は大きく増加しております。

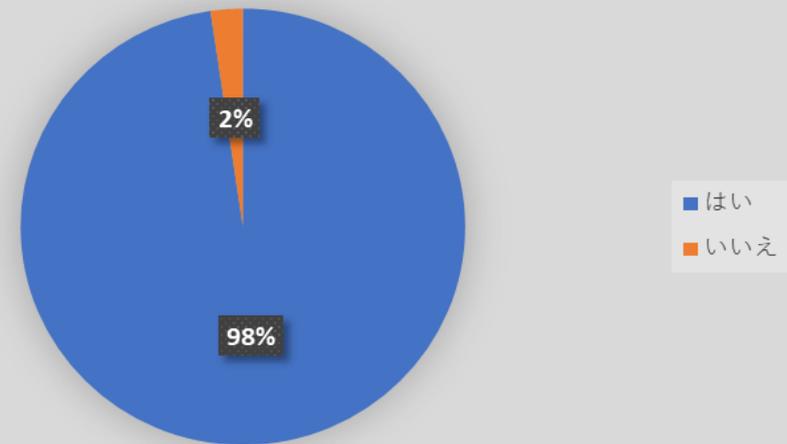


- ・当金庫ではお客さま本位の営業活動の実践状況を確認するため、資産形成や資産運用に関する説明を受けたお客さまを対象に、アンケートを実施しております。
- ・お客さまからのアンケートにより当金庫の活動を客観的に評価していただき、その内容を基にサービスの改善に取り組んでおります。
- ・お客さまの満足度を表すアンケートの設問に対しては、ほとんどのお客さまに満足いただける回答を頂戴しております。
- ・アンケートは配付数2,706件、回収数2,073件、回収率76.6%となっております（2023年3月）。

アンケート「お役に立ちましたか？」



アンケート「またご利用したいですか？」

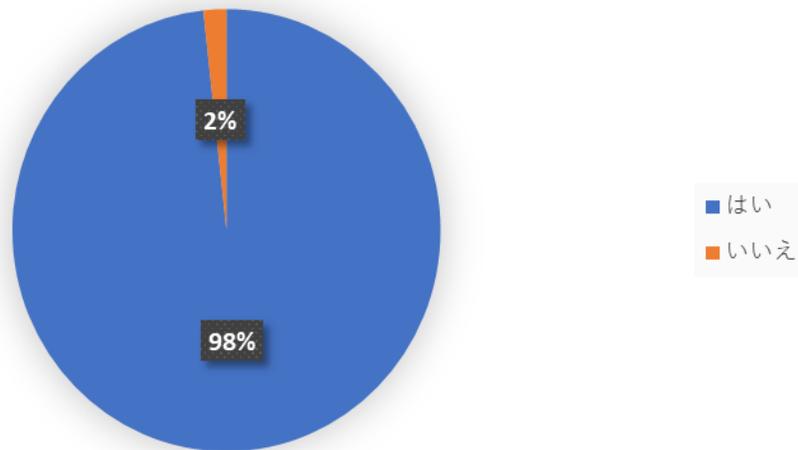


1.お客様の最善の利益の追求（原則2,6）

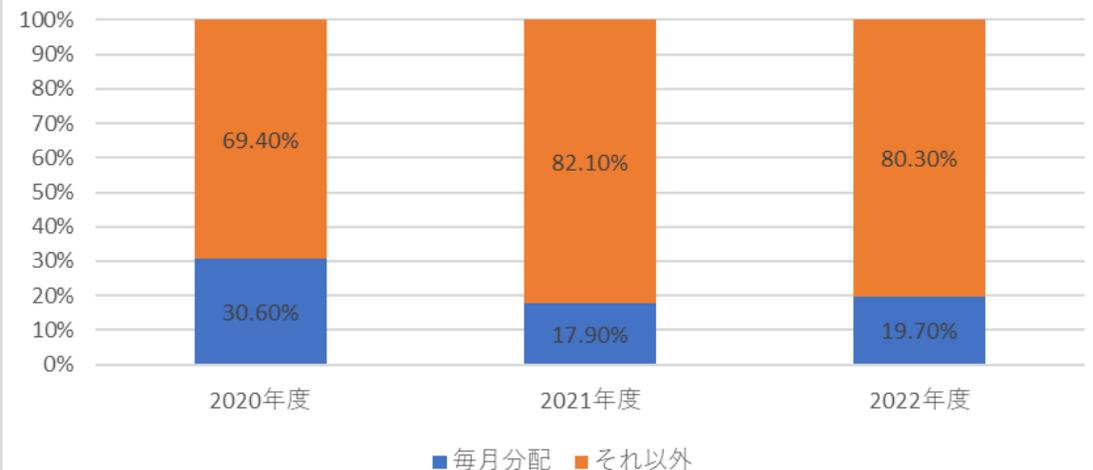
(1) 商品のご提案にあたっては、お客様の知識・経験・財産の状況やライフプランの考え方を共有し、お客様に寄り添ったコンサルティングを通して、最適な商品・サービスの提供を行います。

- ・お客様の情報や資産運用のご意向、目的をお聞きし、一人ひとりのお客様のニーズを確認して適切な金融商品を提供しております。
- ・お客様からは、ご意向に沿った商品説明を受けているとの高い評価を頂戴しております。
- ・お客様の中長期的な資産形成を実現するために相応しい商品・サービスの提供を実施してきた結果、「毎月分配型」の割合は減少傾向となっております。

アンケート「意向に沿った商品説明でしたか？」



投信販売に占める「毎月分配型」と「それ以外」の比較



1.お客様の最善の利益の追求 (原則2,6)

(2) お客様の多様なニーズに対し適切な商品のご提案ができるように、幅広い商品のラインナップを揃え定期的に見直しを行います。

- ・お客様の多様なニーズにお応えするため、外部機関のアドバイスやお客様の声を参考に、ラインナップの見直しを行いました。
- ・運用効率が高く純資産額の多い投資信託や資産形成に適したバランスファンドおよびノーロード商品を新たに9商品導入いたしました。
- ・その他、12ファンドを販売休止とし、1商品を投信インターネットサービス専用商品として移行いたしました。
- ・今後も資産形成ニーズに幅広くお応えできるよう、ラインナップの見直しを定期的に行ってまいります。
- ・新規導入商品は右図のとおりですが、詳しくは当金庫ホームページ内の「投資信託基準価額一覧表」をご覧ください。

| | ファンド名 | 分類 | 投信会社 |
|--------|--|-------|----------------------|
| 新規導入商品 | 新成長株ファンド 愛称：グローイング・カバーズ | 国内株式 | 明治安田アセット マネジメント |
| | しんきん米国ウォーターファンド | 国外株式 | しんきんアセット マネジメント投信 |
| | グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)愛称：未来の世界 | 国内外株式 | アセット マネジメントOne |
| | サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型 | 国内外株式 | 三菱UFJ国際投信 |
| | 投資のソムリエ | バランス | アセット マネジメントOne |
| | 三菱UFJライフセレクトファンド (安定成長型) | バランス | 三菱UFJ国際投信 |
| | ゴールド・ファンド (為替ヘッジなし) | その他 | 日興アセット マネジメント |
| | ニッセイリートインデックスファンド (購入・換金手数料なし) | 国内不動産 | ニッセイアセット マネジメント |
| | i FreeS&P500インデックス | 海外株式 | 大和アセット マネジメント |

～投信新規導入9商品～

2.利益相反の適切な管理(原則2,3)

(1) お客様の利益が不当に害されることがないように、当金庫が別に定める「利益相反管理方針」に基づき、適切な管理を行います。

- 当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、利益相反管理方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理しております。
- 当金庫の「利益相反管理方針」につきましては右図の「利益相反管理方針の概要」の記載のとおりですが、当金庫ホームページ内にも掲載しておりますので、併せてご確認ください。

利益相反管理方針の概要

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

令和4年9月28日
金沢信用金庫

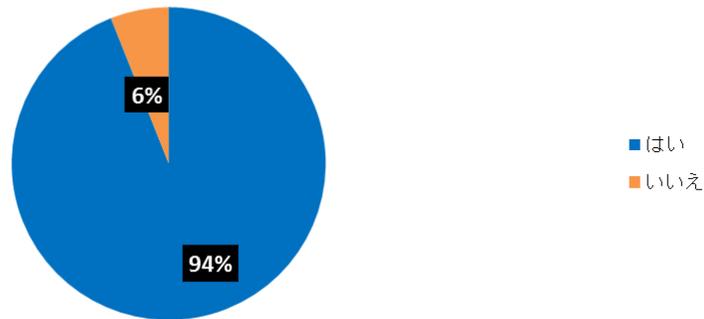
- 当金庫は、当金庫および株式会社ソフトバンク金沢（以下、総称して「当金庫等」といいます。）がお客さまと行う取引を対象として利益相反管理を行います。
- 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - 次に掲げる取引のうち、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまと行う取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまと対立または競合する相手と行う取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまから得た情報を不当に利用して行う取引
 - ①から③のほかお客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
- 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。
 - 対象取引を行う部門とお客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 - 対象取引またはお客さまとの取引の条件または方法を変更する方法
 - 対象取引またはお客さまとの取引を中止する方法
 - 対象取引に伴い、お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客さまに適切に開示する方法
- 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。
- 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。

以上

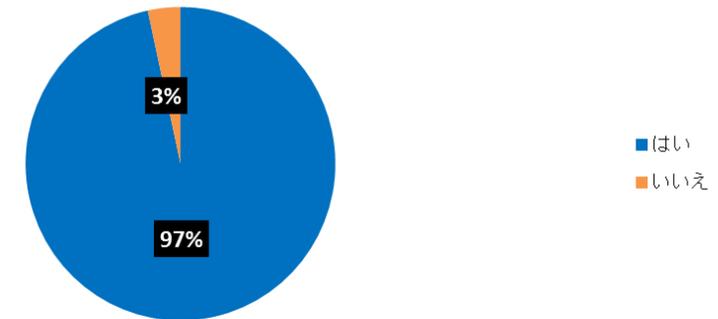
(2) 金融商品の販売時には、販売手数料の多寡にかかわらず、お客さまに適切な商品の提案を行います。

- ・当金庫ではお客さまにご納得いただける商品・サービスの提供に努めております。
- ・お客さまから運用商品についてご相談を受けたときには、当金庫はお客さまのご意向に沿った複数の商品をご提案し、お客さまに選んでいただけるよう説明を行っております。
- ・お客さまからのアンケート結果のとおり、大部分のお客さまから複数商品の説明を受けたと回答を頂戴しており、適切な商品の提案を行っているとの評価を頂戴しております。
- ・商品説明における各種リスク説明についても、多くのお客さまから説明を受けたとの評価を頂戴しております。一方、少数ではありますが、説明を受けていないというお声も頂戴しております。
- ・商品説明に関する各種リスク説明や複数商品の説明については、お客さまにご理解、ご納得いただける体制を整備するため、2023年度は外部講師を招いた研修を開催し、職員の教育を実施しております。

アンケート「複数商品の説明を受けましたか？」



アンケート「リスクに関する説明を受けましたか？」

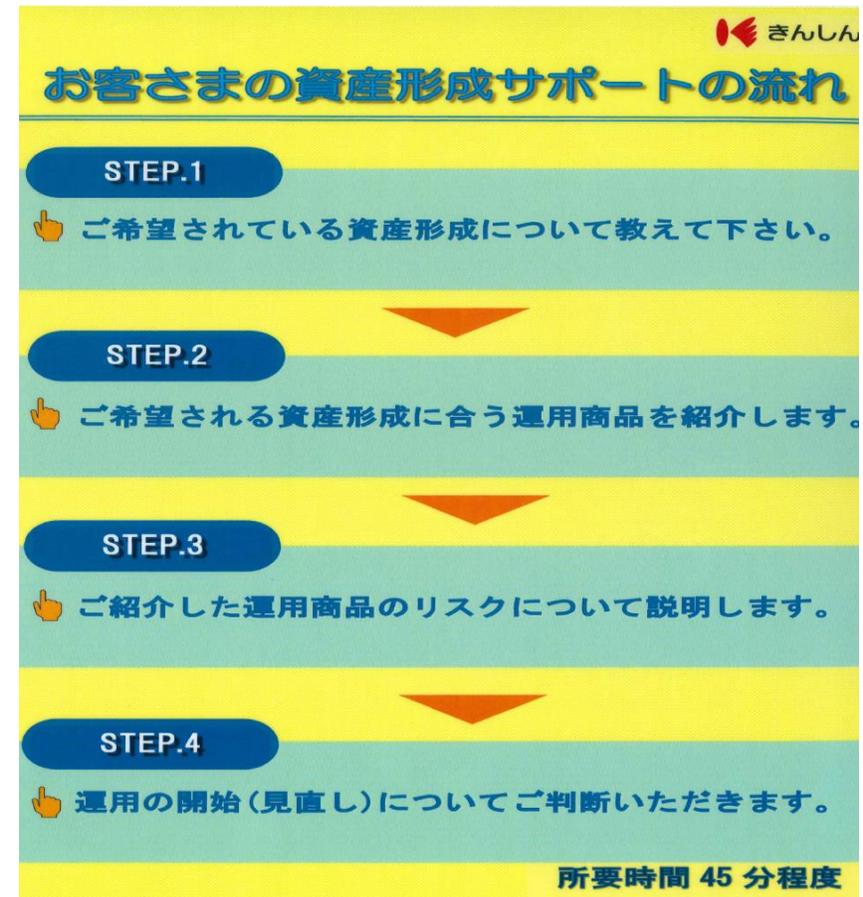


3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供(原則2,4,5,6)



(1) お客様に販売・奨励する金融商品については、お客様の取引経験や金融知識に配慮のうえ、コンサルティングツール等を用いてお客様のご理解を確認しながら分かりやすい説明を行います。

- ・当金庫ではお客様に資産形成や資産運用をサポートする際には、「お客様の資産形成サポートの流れ」(右図)をお客様に明示し、一通りの説明が終わるまでの所要時間(45分程度)をお伝えしております。
- ・お客様へ説明を行うときは、STEP1からSTEP4まで順番に行い、各STEPが終了した際やその都度、お客様の理解を確認しながら進めております。
- ・お客様に説明する場合には「マネープランガイド」や「預かり資産ナビのコンサルティングツール」を用いて図解を交えながら分かりやすい説明を実施しております。
- ・お客様からは「意向に沿った商品説明でしたか?」や「お役に立ちましたか?」のアンケートについて高い評価を頂戴しております(P5,P6グラフ参照ください)。



3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供(原則2,4,5,6)



(2) お客さまにご負担いただく手数料、その他費用等につきましては、正しくご理解いただくため、重要情報シート等を用いて説明を行います。

- 当金庫では、お客さまにご負担いただく手数料、その他費用等につきまして、正しくご理解いただくために重要情報シートを活用しております。
- 現在お取り扱い中の特定保険商品(外貨建保険商品) 5商品については重要情報シートを作成し、説明を行っております(右図は見本)。
- 重要情報シートにつきましては、当金庫ホームページ内の“相談する「保険商品」”に対象商品が記載されておりますので、そちらをご覧ください。
- 現在お取り扱いしております投資信託商品につきましても順次、重要情報シートをご用意し、分かりやすい説明に努めてまいります。

2023年4月版
重要情報シート

販売会社：金沢信用金庫

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みの際は、「商品概要書」、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)兼商品パンフレット」、「例表」または「提案書」、「ご契約のしおり-定款・約款」等を必ずお読みください。

**この商品は日本生命を引受保険会社とする生命保険です。
預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。**

1. 商品等の内容(当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

| | |
|---------------------|--|
| 金融商品の名称・種類 | 日本生命の一時払終身保険ロングドリームGOLD3 しんきんらいふ終身N <ニッセイ指定通貨建積立利率変動型一時払終身保険(米ドル建・豪ドル建)> |
| 組成会社 (引受保険会社) | 日本生命保険相互会社 |
| 販売委託元 | |
| 金融商品の目的・機能 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外貨の金利を活かして積立金をふやし、将来は大切な方へ資産を「のごす」か、ご自分で「つかう」かを選択できる外貨建の終身保険です。 <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定通貨を米ドルまたは豪ドルより選択できます。 告知不要で90歳まで加入できます。 被保険者が亡くなったとき、指定通貨で一時払保険料以上の死亡保険金をお支払いします。 以下の2つのタイプより選択できます。 ①「ふやすタイプ」 <ul style="list-style-type: none"> 積立利率にしたがって、積立金をふやします。 解約払戻金の円換算額に目標金額を設定することができます。 目標金額に到達したとき、「のごすコース(円建終身保険)」に移行します。 ②「うけとるタイプ」 <ul style="list-style-type: none"> 契約応当日に被保険者が生存しているとき、毎年定期支払金をお支払いします。 将来、「のごすコース(円建終身保険)」または「つかうコース(円建年金)」に移行できます。 <p>この商品は以下のご意向があるお客さまを念頭に組成しています。</p> <p><全タイプ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 終身にわたる死亡保障(ご家族の生活資金・相続対策の資金等)を確保したいお客さま 所定の積立利率にもつぎ外貨建で資産を運用し、将来に向けた資産形成を行いたいお客さま <p><「うけとるタイプ」の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年の契約応当日に、上記の外貨建で運用した成果から定期支払金を受取りたいお客さま また、為替変動リスク・金利変動リスクに伴う元本割れを許容できるお客さまを想定しています。 |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | |
| パッケージ化の有無 | ありません。 |
| クーリング・オフの有無 | クーリング・オフの適用があります。ご契約の申込日または注意喚起情報を受取った日のいずれか遅い日からその日を含めて8日以内であれば、書面または電磁的記録によるお申し出により、ご契約のお申込みの撤回またはご契約の解除をすることができます。 |

(質問例) ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
③ 目標達成しなかった場合について説明してほしい。

(3) 投資信託や特定保険商品をご契約いただいたお客さまには、ご契約後も継続的なアフターフォローを通して、お客さまの安定的な資産形成にお役に立てるよう、情報の提供を行います。

- ・当金庫では、商品・サービスのご提供後も、アフターフォローを通して、お客さまのライフステージなどの状況確認や適時適切な情報提供を行っております。
- ・投資信託をご利用いただいているお客さまには一年間で2回以上、特定保険商品をご契約されたお客さまにはご契約いただいてから一年以上経過した時点でアフターフォローを実施し、昨年一年間では5,224先のお客さまにアフターフォローを実施しました。
- ・これからも、ご契約いただいたお客さまにアフターフォローを通して、ライフステージなどの状況確認や適時適切な情報提供を行いながら、お客さまと一緒に資産形成や資産運用について考えてまいります。

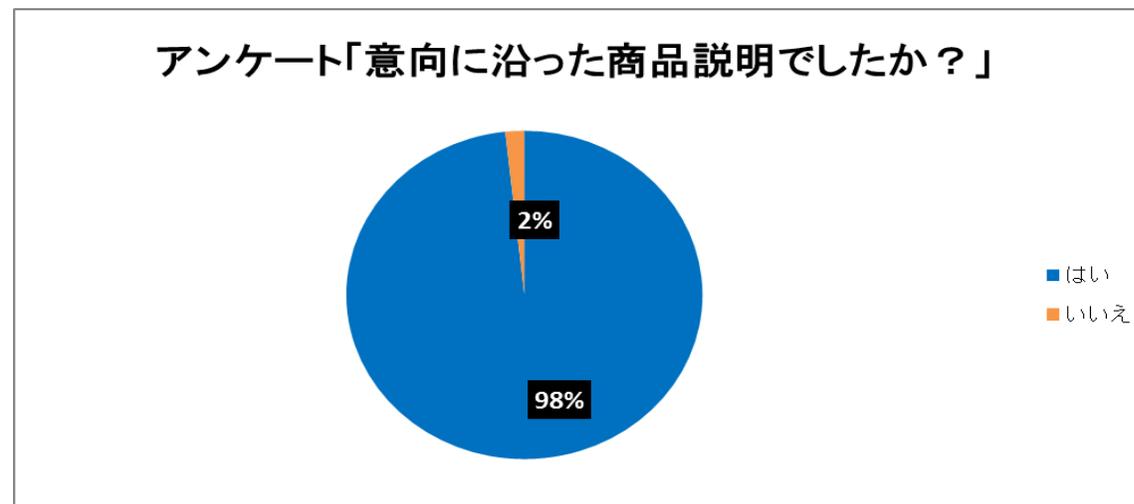
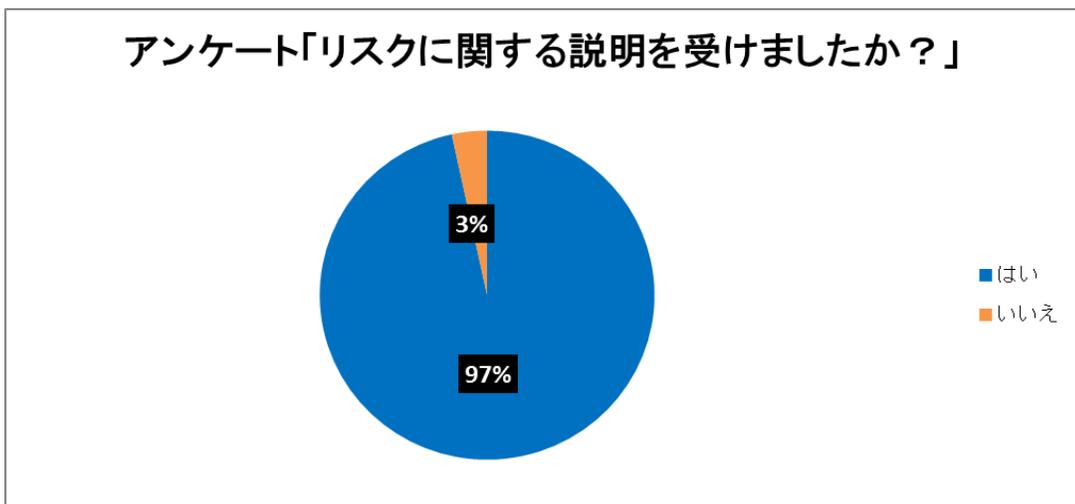
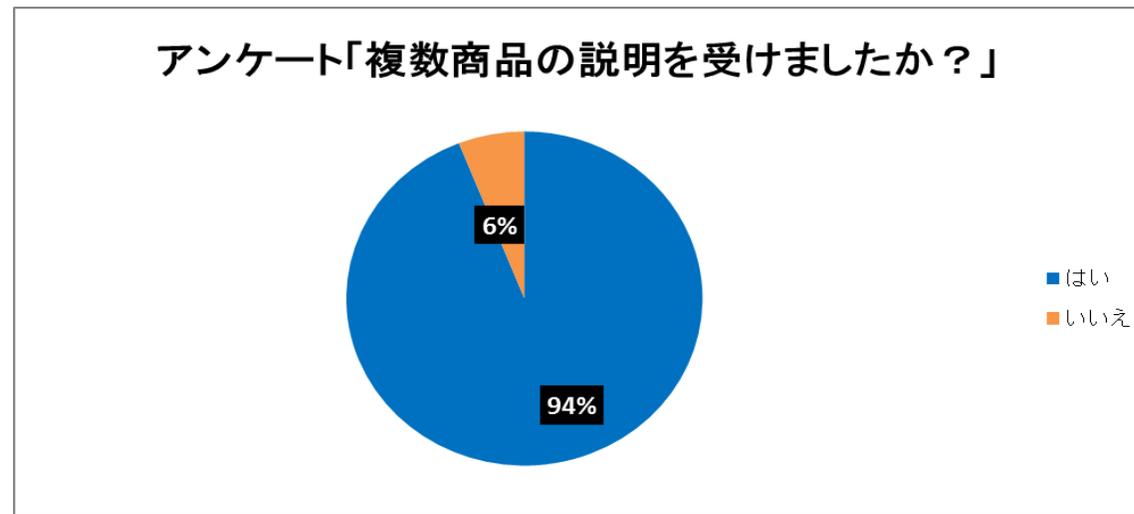
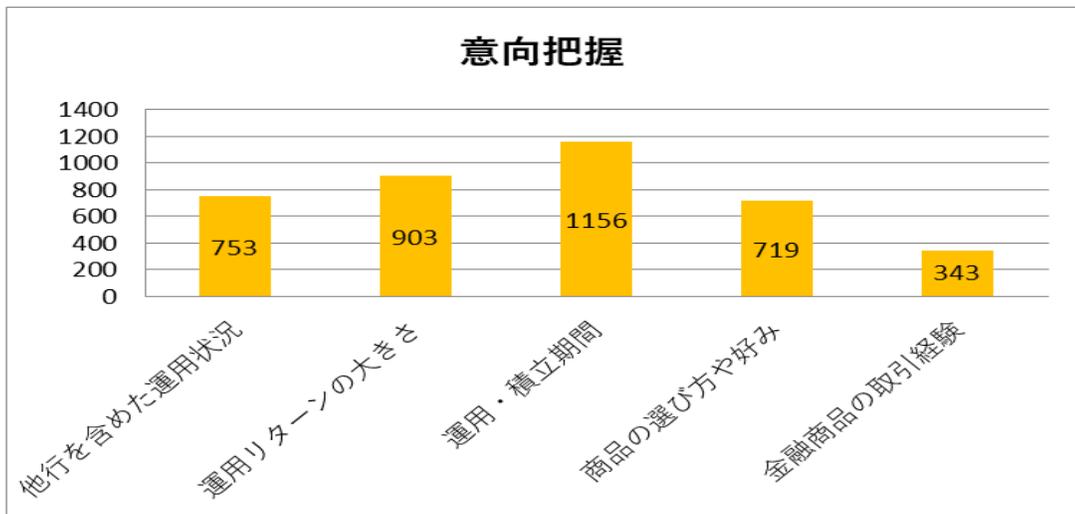
4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(1) お客さまのライフプランや資産形成、運用に対する考え方をお聞きし将来にわたる潜在的ニーズを把握、共有したうえで、お客さまに適切かつ必要な商品を慎重に検討しながら、お客さまに信頼されるコンサルティングを行います。

- ・当金庫では、「お客さまの資産形成サポートの流れ」(P10)に沿って、STEP1～STEP4のプロセスを経て、お客さまへコンサルティングを行っております。
- ・STEP1「資産状況や意向を確認」、STEP2「比較推奨」、STEP3「リスク説明」、STEP4「商品選択」について、この流れの説明を受けたお客さまからアンケートを頂戴しております。
- ・次ページ(P14)のアンケート結果のとおり、各STEPについてお客さまからは高い評価を頂戴しております。
- ・引き続き、「お客さまの資産形成サポートの流れ」に沿った活動を実践し、お客さまから信頼されるコンサルティングを行ってまいります。

4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

各STEPのアンケート結果



4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(2) コンサルティングツール等を活用し、シミュレーションや図表等を用いて、お客さまのライフプランに合わせたコンサルティングを行います。

- お客さまの多様化するニーズにお応えするため、また、お客さまの将来のライフイベントと一緒に共有させていただくため、「預かり資産ナビのコンサルティングツール」等を活用したコンサルティングを行える職員の育成に取り組みました。
- 「コンサルティングスキルアップ研修」として、個人営業担当者の中でマネーアドバイザー (MA)として認定されている職員の中から32名が研修を受講しました。
- 研修の内容は①ライフプランからキャッシュフローをコンサルティングツールで作成し、提案に繋げる、②コミュニケーションのポイントを習得し実践、として実施した結果、一年間でライフプランシミュレーション作成数は57件となりました。



これからのマネープランを作ってみませんか?

いつも金沢信用金庫をご利用いただきありがとうございます。

「これからの人生で、何に、いくら、お金が必要なだろう…」そんな将来のお金について、なんとなく感じる不安はございませんか？
金沢信用金庫のライフプランシミュレーションでは、お客さまの声を聴きながら、そんな漠然とした不安のタネを『見える化』します。

どの年代のお客さまにおかれましても、これから必要となるお金を知ること、早すぎることも遅すぎることもございません。
まずは、お近くの金沢信用金庫の窓口でご相談されてみてはいかがでしょうか。

～ 金沢信用金庫の窓口のご案内 ～

ご自宅でも外出先でもお電話
相談や得意先が可能！
便利な「金沢信用金庫
アプリ」のダウンロード
はお済みですか？

App Store

Google Play

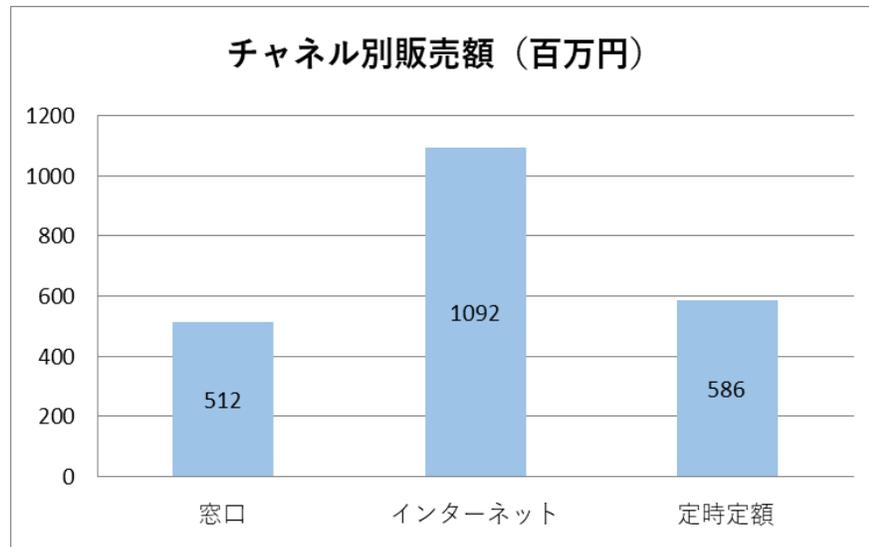
金沢信用金庫店舗案内はこちら



4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(3) 投資経験が十分なお客さまや、窓口にご来店が困難なお客さまには、投信インターネットサービス等をご提供します。

- ・投信インターネットサービスは窓口に来店が不要で、お客さまのタイミングで投資信託の購入や売却ができるサービスです。
- ・近年はスマートフォンの普及もあり、投信インターネットサービスをご希望されるお客さまは増加傾向にあります。
- ・チャネル別販売額では投信インターネットサービスからの購入が全体の約50%を占めております。



- ・当金庫ではお客さまに投信インターネットサービスをご利用しやすい環境に整えるため、以下の対応を行っております。
- ①投信インターネットサービスでご購入の際、手数料を50% OFF (右図)
- ②投信インターネットサービス専用商品のラインナップを充実



きんしんの投信インターネットサービス

2022年12月5日より
投資信託の購入時手数料が
50%OFF!

購入時手数料無料ファンドおよび積立投資での購入はできません。

ポイント1
パソコンやスマートフォンでも投資信託の購入・売却、積立投資、積立投資の解約が可能です。
※お申し込みの日の翌日よりご利用いただけます。

ポイント2
窓口で投資信託をご購入いただく場合と比較して、投信インターネットサービスの購入時手数料がお得です。

ご利用いただける商品
※ご利用方法
※積立投資のメリット

スマートフォンで投資信託のご購入について
※お問い合わせ先

きんしん

～投信ISチラシ～

4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(4) 商品のラインナップは、リスク・リターンの高い商品だけでなく、初めて金融商品をご検討されるお客さまや、ご高齢のお客さまの幅広いニーズにお応えできるように見直しを行います。

- ・当金庫では、お客さまの多様なニーズにお応えするため、外部機関のアドバイスやお客さまの声を参考に、ラインナップの見直しを行いました（詳しくはP7を参照ください）。
- ・運用効率が良い純資産額の多い投資信託や資産形成に適したバランスファンドおよびノーロード商品を新たに9商品導入しました。
- ・9商品の導入は、国内株式が1ファンド、国外株式が1ファンド、国内外株式が2ファンド、バランス型が2ファンド、その他が1ファンド、投信インターネットサービス専用商品（ノーロード型）が2ファンドとバランスよく商品を導入しました。
- ・今後も、初めて金融商品をご検討されるお客さまや、ご高齢のお客さまの幅広いニーズにもお応えできるようにラインナップの見直しを定期的に行います。

※当金庫は、パッケージ商品の販売は行っておりません。

※当金庫は、金融商品の組成に携わる金融事業者には該当いたしません。

5. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等(原則6,7)

(1) 「お客さま本位」の考え方を全役職員に周知し、企業文化として定着させるため、研修等を通じ全役職員に本取組方針の理解と実践を促します。

- ・投資信託や個人年金保険等の提案・販売を行うための専門的な知識やスキルを身に付ける研修を受講し、修了した職員を当金庫ではマネーアドバイザー (MA)と認定しております。
- ・これまで、個人営業担当者を中心にMAを認定してきましたが、資産形成や資産運用ニーズの高まりや金融リテラシー向上を背景として、MAを資格制度として創設しました。
- ・この制度は特定の研修を受講することでMA資格を取得でき、資格を持った職員でなければお客さまへ元本の保証のない商品の説明をできないこととしております。
- ・2022年度は支店長を始めとする営業店の管理者を中心に5回シリーズの研修を上期、下期の2回実施いたしました。138名が受講し、その内の100名が資格取得しております。
- ・2023年度は本部職員を対象とした同様の研修を実施しております。



～MA研修の様子～

5. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等(原則6,7)



(2) 販売担当者の資質向上のため、定期的に職員研修を実施します。また、『ライフシミュレーション』により、お客さまの資産形成・資産運用を支援し、人生により添ったコンサルティングが行える人材を継続的に育成します。

- ・販売に必要な知識や考え方を身に付けるため、当金庫では『スキル確認』と称した職員研修を毎月実施しております。
- ・『スキル確認』は、販売に必要な基本的な知識や考え方を身に付けるコース（Stage 1）と販売の実践に必要な知識や考え方を身に付けるコース（Stage 2）の2つのコースがあります。
- ・まず、販売担当者はStage 1の習得を目指し、完了してからStage 2の習得を実施しております。
- ・この『スキル確認』を毎月実施し、販売担当者全員の資質向上に努めております。
- ・その他の取組として、職員の販売プロセス向上を目的として、外部機関を活用した第三者からの客観的評価を頂戴し、サービス向上に努めております。
- ・昨年は11月に10店舗の職員を対象に実施し、その結果を踏まえて次年度の施策に反映させております。
- ・また、お客さまの多様化するニーズにお応えするため、また、お客さまの将来のライフイベントを一緒に共有させていただくため、預かり資産ナビのコンサルティングツール等を活用したコンサルティングを行える職員の育成にも取り組んでおります（P15参照）。
- ・今年度以降も同様の研修を継続して実施し、預かり資産ナビのコンサルティングツール等を活用したコンサルティングを行える職員の育成を行ってまいります。

(3) 職員の評価に関しましては、お客さまからのアンケートによる客観的評価に基づきFDの取り組み状況を評価項目に取り入れていきます。

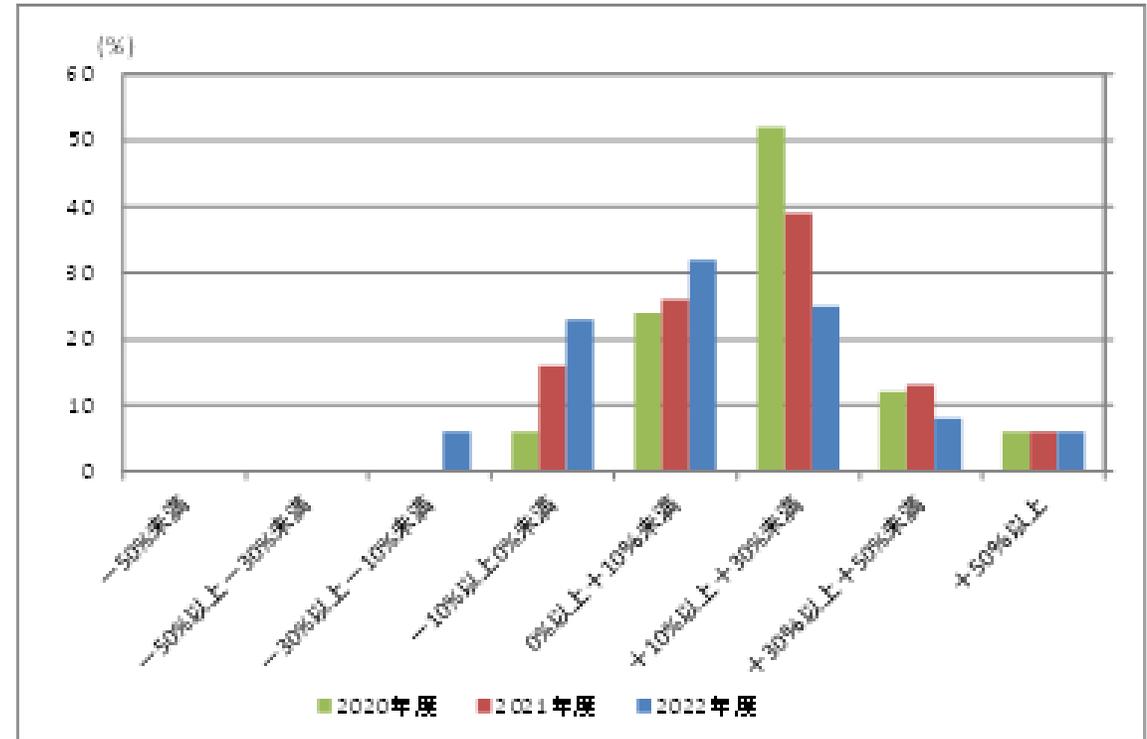
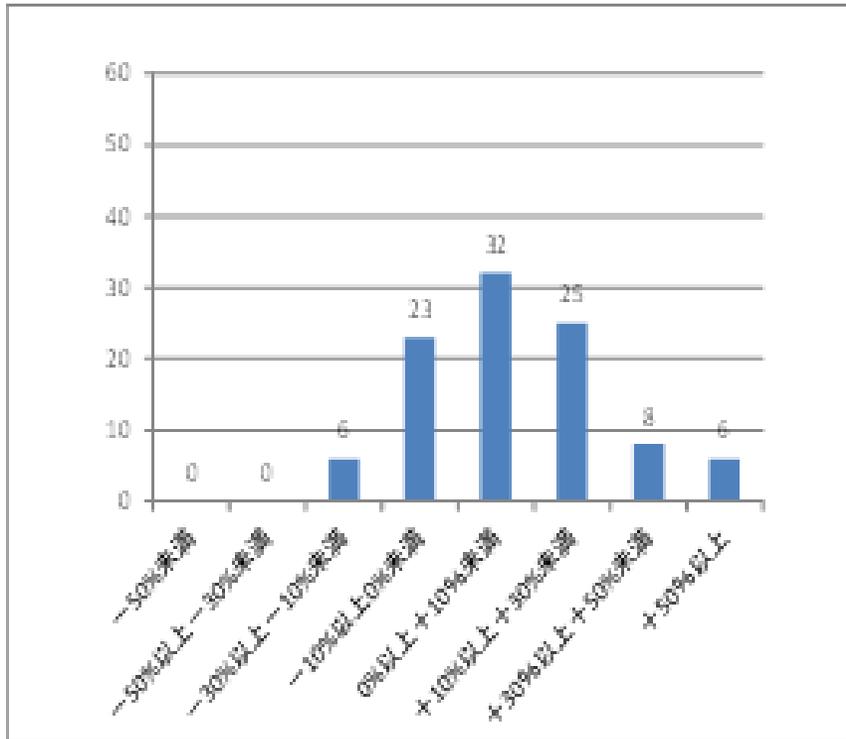
- ・お客さまから頂戴しているアンケートの配付数や回収数を販売担当者のプロセス評価項目に取り入れることで、FD（フィデューシャリー・デューティー）に基づいた活動が出来ているかを評価しております。
- ・当金庫が実施しておりますアンケートは、FD（フィデューシャリー・デューティー）の観点に基づき、「お客さまの資産形成サポートの流れ」を明示し、その流れに沿った活動ができているかをお客さまからの客観的評価として頂戴しております。
- ・この活動を通して、お客さまからは様々なお声を頂戴しております。

～お客さまからの声（抜粋）～

- ・一緒に考えてくれるという感じがして、親しみがもて、話しやすかった。「経験が浅い」とおっしゃっていましたが、色々と沢山調べてくれてわかりやすかった。多分同じ質問を何回もしたり、中々理解できず困らせたかもしれませんが、ずっと明るく素敵な笑顔で対応してくれてありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく、資産運用に全く知識のない私に説明して下さいました。今後（すでに60歳ですが）の人生設計と合わせて考えるチャンスとなりました。近々私も娘も考えたいと思います。これからもよろしく願いいたします。
- ・投資に無知な為、何でも質問しましたが、とても丁寧に答えてくれました。スマホの設定も嫌がらず、とても親切に対応して頂きました。ありがとうございました。
- ・こちらの質問、疑問を全てクリアにしてくださいました。他行との対応の違いを大きく感じました。今後とも宜しくお願い致します。
- ・全く分からず無知だった、「つみたてNISA」について知ることができ、登録することができてよかったです。丁寧に説明していただき助かりました。

(共通KPI)投資信託の運用損益別顧客比率

- ・当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。
- ・運用損益がプラス（0%以上）のお客さまは約71%でした。

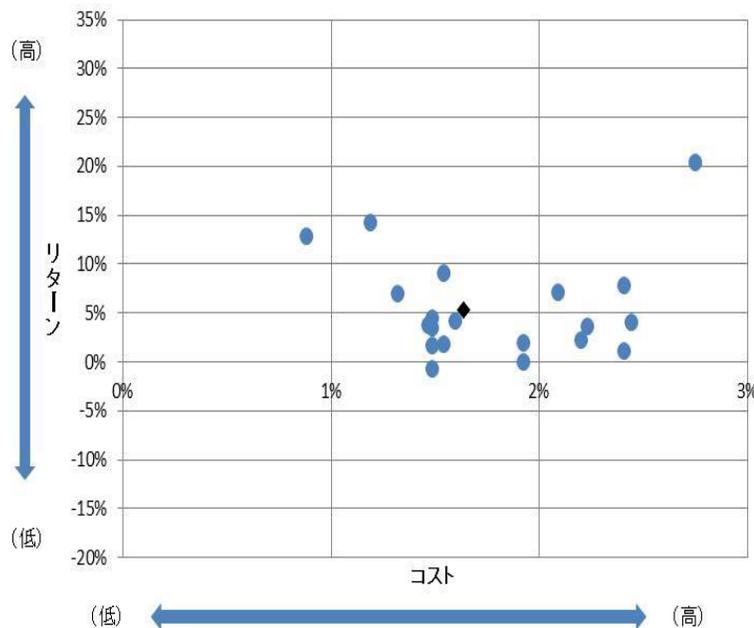


(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

【2020年度】

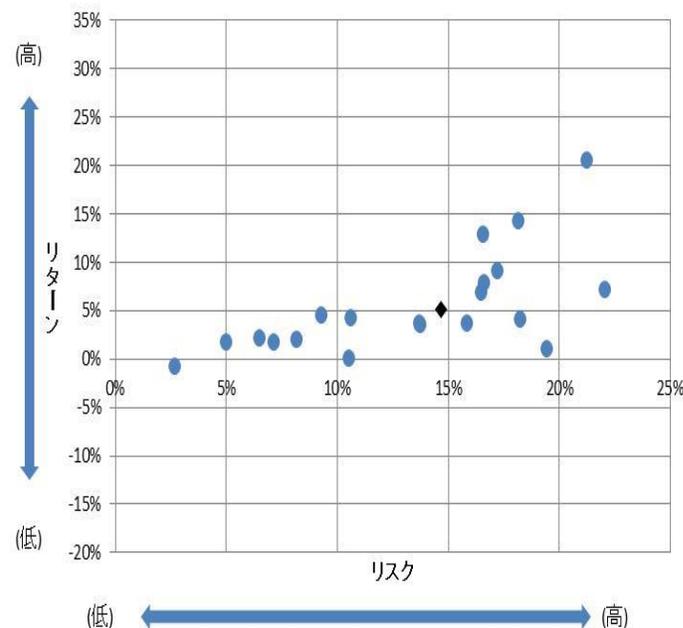
【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

<コスト・リターン>



| | | |
|-------------|-------|-------|
| 残高加重 平均値 | コスト | リターン |
| | 1.64% | 5.28% |

<リスク・リターン>



| | | |
|-------------|--------|-------|
| 残高加重 平均値 | リスク | リターン |
| | 14.62% | 5.28% |

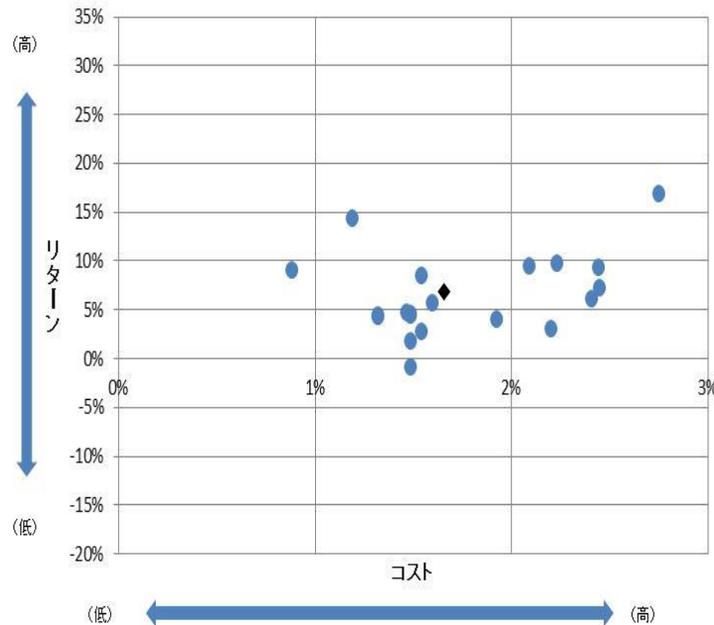
| | ファンド名 |
|----|--------------------------------------|
| 1 | しんきんJリートオープン(毎月決算型) |
| 2 | しんきんインデックスファンド225 |
| 3 | 新光US-REITオープン |
| 4 | しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型) |
| 5 | しんきん3資産ファンド(毎月決算型) |
| 6 | 三井住友・グローバル・リート・オープン |
| 7 | 明治安田米国中小型成長株式ファンド |
| 8 | ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型) |
| 9 | ニッセイ/パトナム・インカムオープン |
| 10 | しんきん世界アロケーションファンド |
| 11 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型) |
| 12 | しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型) |
| 13 | ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型) |
| 14 | DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース) |
| 15 | しんきん世界アロケーションファンド(積極型) |
| 16 | しんきんJリートオープン(1年決算型) |
| 17 | しんきんアジアETF株式ファンド |
| 18 | しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型) |
| 19 | DIAM高格付外債ファンド |
| 20 | しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) |

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

【2021年度】

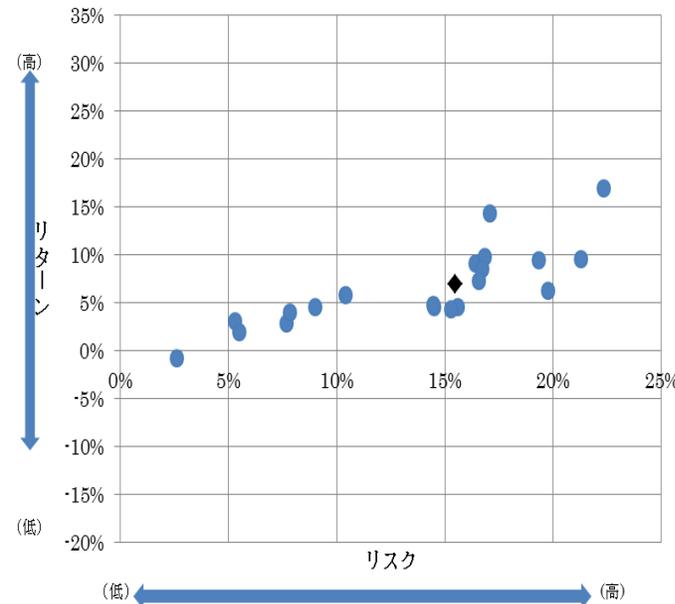
【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

<コスト・リターン>



| 残高加重 平均値 | コスト | リターン |
|-------------|--------------|--------------|
| | <u>1.65%</u> | <u>6.89%</u> |

<リスク・リターン>



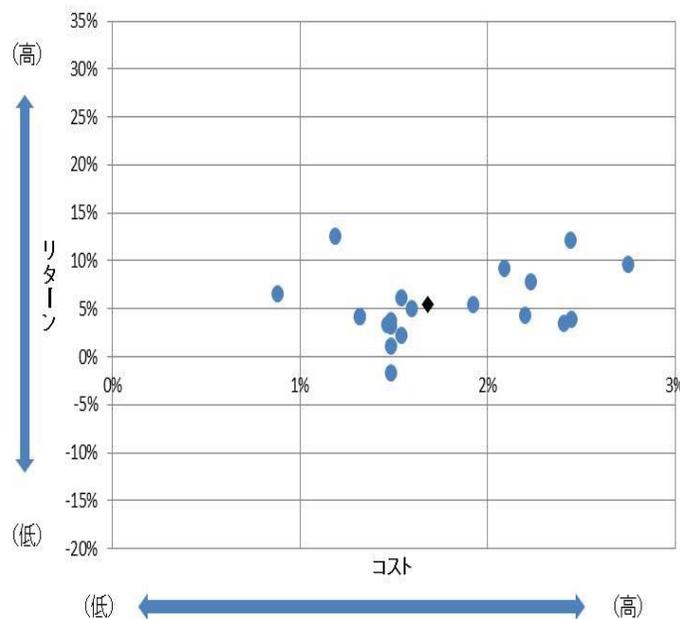
| 残高加重 平均値 | リスク | リターン |
|-------------|---------------|--------------|
| | <u>15.49%</u> | <u>6.89%</u> |

| | ファンド名 |
|----|--------------------------------------|
| 1 | しんきんJリートオープン(毎月決算型) |
| 2 | しんきんインデックスファンド225 |
| 3 | 新光US-REITオープン |
| 4 | 明治安田米国中小型成長株式ファンド |
| 5 | しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型) |
| 6 | しんきん3資産ファンド(毎月決算型) |
| 7 | 三井住友・グローバル・リート・オープン |
| 8 | ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型) |
| 9 | ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型) |
| 10 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型) |
| 11 | しんきんアジアETF株式ファンド |
| 12 | しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型) |
| 13 | ニッセイ/パトナム・インカムオープン |
| 14 | DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース) |
| 15 | しんきん世界アロケーションファンド |
| 16 | しんきん世界アロケーションファンド(積極型) |
| 17 | しんきんJリートオープン(1年決算型) |
| 18 | しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) |
| 19 | しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型) |
| 20 | しんきん好配当利回り株ファンド |

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

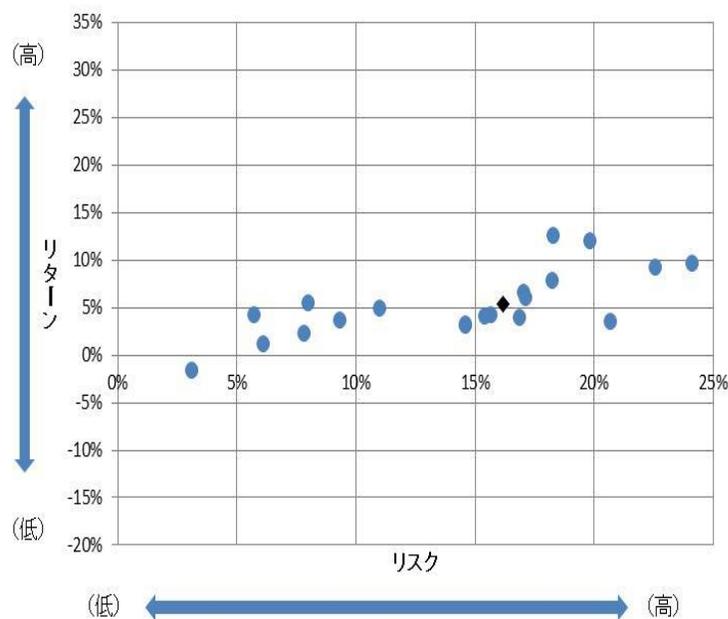
【2022年度】

<コスト・リターン>



| | | |
|-------------|-------|-------|
| 残高加重 平均値 | コスト | リターン |
| | 1.68% | 5.41% |

<リスク・リターン>



| | | |
|-------------|--------|-------|
| 残高加重 平均値 | リスク | リターン |
| | 16.17% | 5.41% |

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

| | ファンド名 |
|----|--------------------------------------|
| 1 | しんきんJリートオープン(毎月決算型) |
| 2 | しんきんインデックスファンド225 |
| 3 | 明治安田米国中小型成長株式ファンド |
| 4 | しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型) |
| 5 | しんきん3資産ファンド(毎月決算型) |
| 6 | 新光US-REITオープン |
| 7 | ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型) |
| 8 | 三井住友・グローバル・リート・オープン |
| 9 | ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型) |
| 10 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型) |
| 11 | しんきんアジアETF株式ファンド |
| 12 | しんきん好配当利回り株ファンド(3カ月決算型) |
| 13 | ニッセイ/パトナム・インカムオープン |
| 14 | しんきん世界アロケーションファンド(積極型) |
| 15 | しんきん世界アロケーションファンド |
| 16 | DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース) |
| 17 | しんきんJリートオープン(1年決算型) |
| 18 | しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) |
| 19 | しんきん好配当利回り株ファンド |
| 20 | しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型) |

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

[用語の説明]

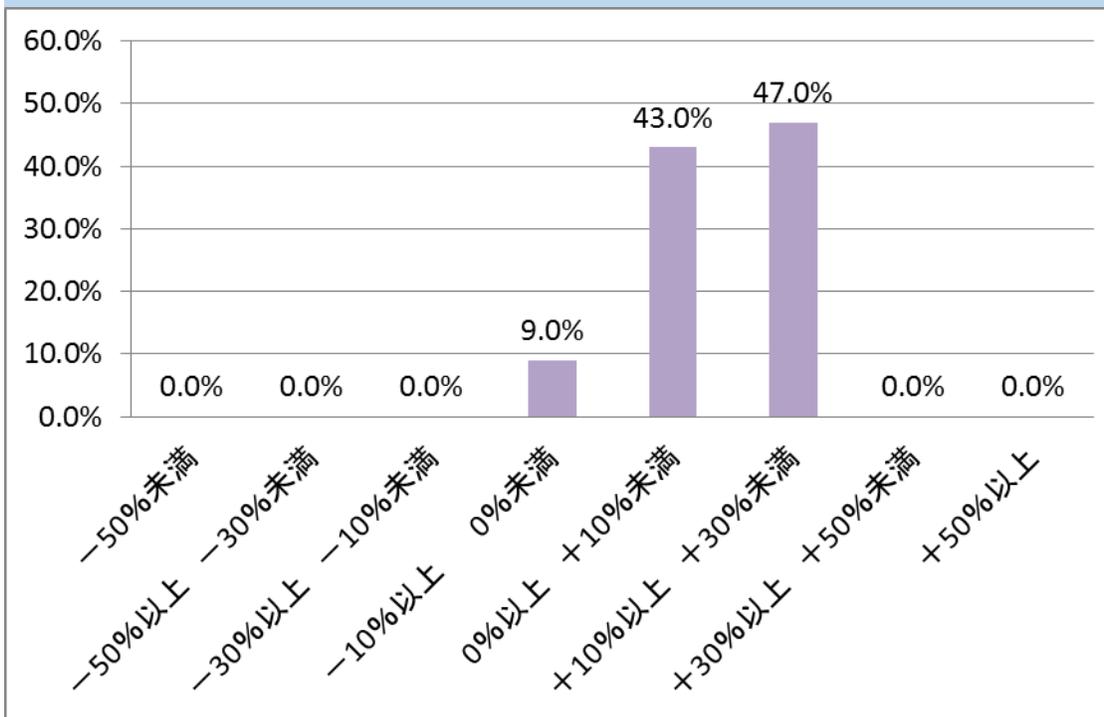
| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| コスト | 投資家が取引を行う際に支払う費用のことです。投資信託の費用で主なものは、購入時（販売・申込）手数料、信託報酬、信託財産留保額の3つです。 |
| リスク | 資産が減少する危険性のことです。投資に対する高い収益率を目指すと、高いリスクを取ることとなります。 |
| リターン | 投資に対する収益率のことです。投資信託の場合は、ファンドが生み出した収益を利回りに換算したものです。 |
| コスト・リターン | 投資に対する収益率と、投資を行う際に発生する費用との関係を表したものです。投資信託預かり資産残高上位20銘柄を対象としてマッピングしています。 |
| リスク・リターン | 投資に対する収益率と、資産が減少する危険性との関係を表したものです。投資信託預かり資産残高上位20銘柄を対象としてマッピングしています。 |

<成果指標算出基準>

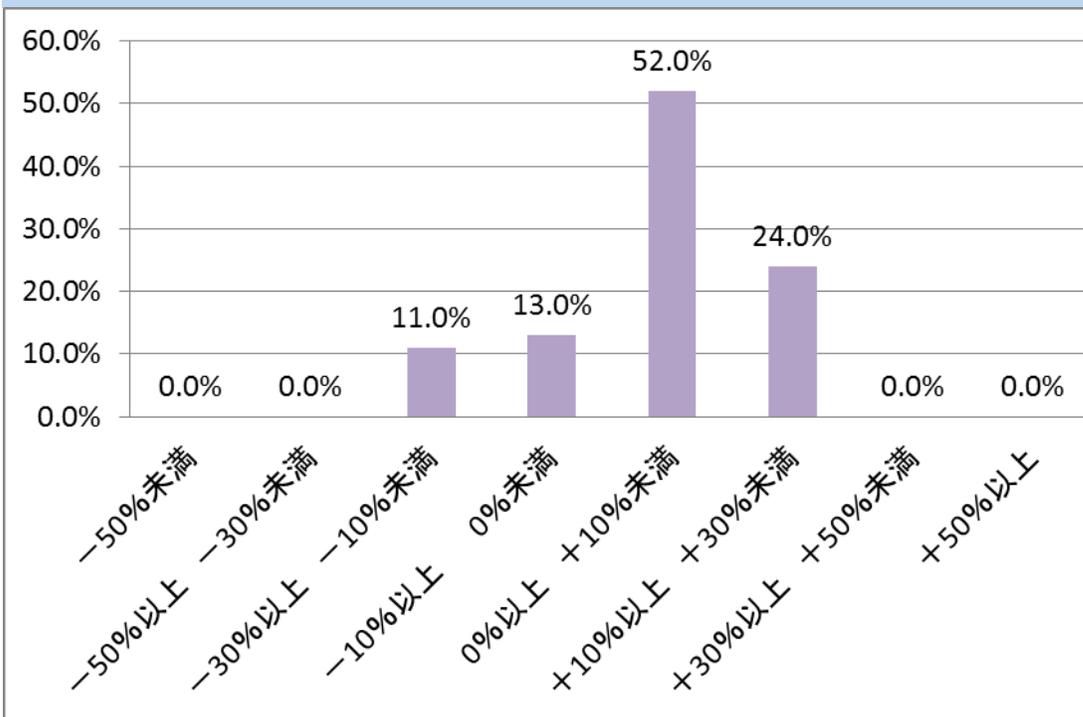
1. 基準日：2023年3月末時点
2. 対象ファンド：投資信託預かり資産残高上位20銘柄
3. コスト：（販売時手数料÷5）+信託報酬（年率）
4. リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用
5. リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

(共通KPI)外貨建保険の運用評価別顧客比率

外貨建保険運用損益別顧客比率 (2022年3月末)

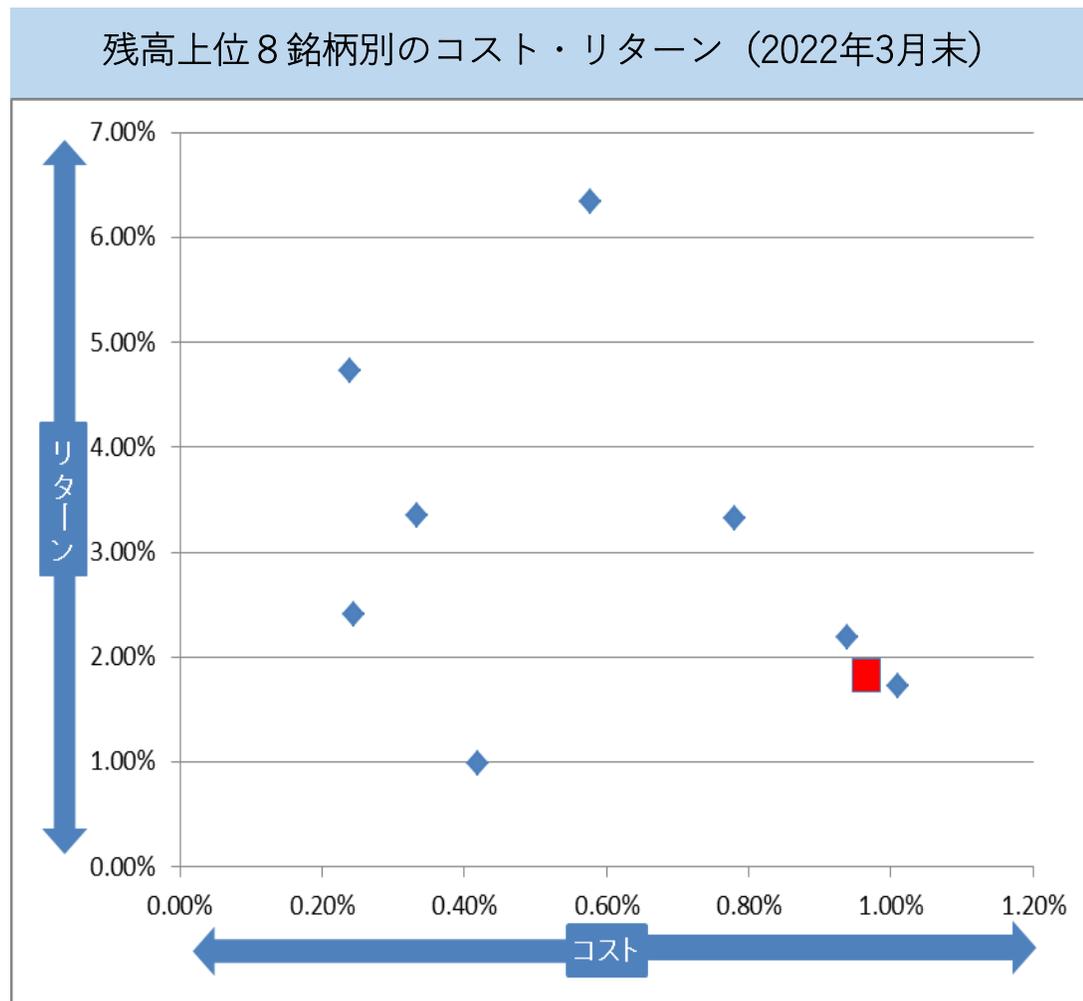


外貨建保険運用損益別顧客比率 (2023年3月末)



- ・対象のお客さま：基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
- ・対象のご契約：当金庫が保険募集を行ったご契約 [基準日時点でご解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)は除外]
- ・対象商品：基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険商品
- ・運用損益率：基準日の解約返戻金額 + 基準日の既支払金額 - 契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算) を契約時点の一時払保険料 (円換算) で除して算出

(共通KPI)外貨建保険の残高上位8銘柄別のコスト・リターンおよび取扱銘柄



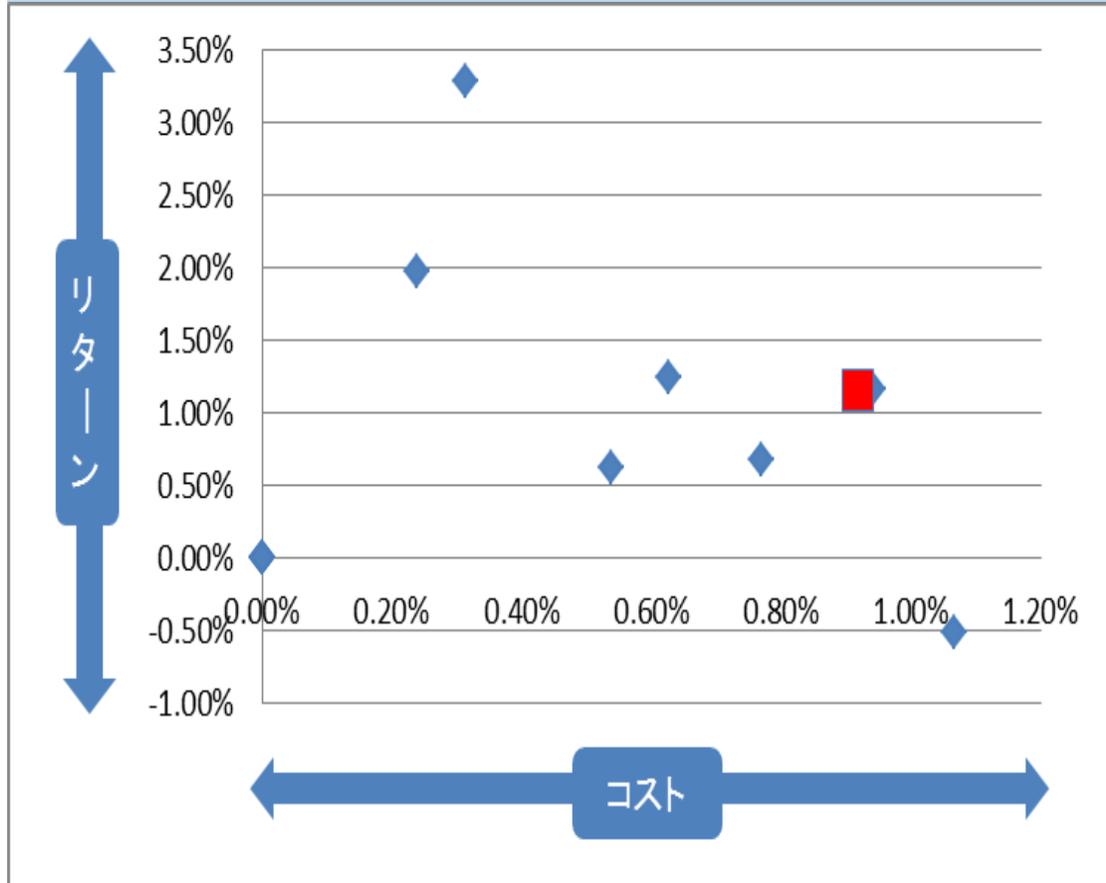
| 銘柄 | | コスト | リターン |
|----|------------------|-------|-------|
| 1 | ロングドリームGOLD ※ | 1.01% | 1.73% |
| 2 | ライフロング・セレクトPG3 ※ | 0.94% | 2.19% |
| 3 | アドバンテージ・セレクトPG ※ | 0.42% | 0.98% |
| 4 | ロングドリーム ※ | 0.33% | 3.35% |
| 5 | ライフロング・セレクトPG2 ※ | 0.78% | 3.32% |
| 6 | スリースターズ ネオ ※ | 0.24% | 4.73% |
| 7 | オリオン (一時払型) ※ | 0.24% | 2.41% |
| 8 | スリースターズ プラス W ※ | 0.58% | 6.34% |
| | 加重平均値 | 0.97% | 1.83% |

※現在は取扱いしていません。

共通KPI(外貨建保険)③

(共通KPI)外貨建保険の残高上位8銘柄別のコスト・リターンおよび取扱銘柄

残高上位8銘柄のコスト・リターン (2023年3月末)



| | 銘柄 | コスト | リターン |
|---|------------------|-------|--------|
| 1 | ロングドリームGOLD ※ | 0.94% | 1.16% |
| 2 | ライフロング・セレクトPG3 ※ | 0.77% | 0.67% |
| 3 | ロングドリーム ※ | 0.31% | 3.28% |
| 4 | アドバンテージ・セレクトPG ※ | 0.54% | 0.62% |
| 5 | ライフロング・セレクトPG2 ※ | 0.63% | 1.24% |
| 6 | スリースターズ プラス W ※ | 1.07% | ▲0.52% |
| 7 | スリースターズ ネオ ※ | 0.24% | 1.97% |
| 8 | 夢のプレゼント | 0.00% | 0.00% |
| | ■ 加重平均値 | 0.92% | 1.15% |

※現在は取扱いしていません。

(共通KPI)外貨建保険の残高上位 8 銘柄別のコスト・リターン

[用語の説明]

| 項目 | 説明 |
|-------|--|
| 対象契約 | 保険契約開始から5年以上経過した契約です。 |
| 対象銘柄 | 外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から5年以上経過した契約が存在する銘柄です。 |
| コスト | 各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均します。 |
| リターン | 各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。(いずれも円換算) |
| 加重平均値 | コスト、リターンともに、個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額の合計額で加重平均します。 |

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。